

▶新町内公民館長の皆さん



就任のごあいさつ



梓川地区 町内公民館長 会長 越智 博臣

北アルプスの残雪が青空に映え、安曇野の新緑が美しい季節となり、本年度の梓川地区公民館活動が本格的に始まりました。

この度、町内公民館長会長に選出されました北大妻公民館長の越智と申します。さて、長野県の公民館数は1236で全国一位ですが、その中で梓川地区は21の町内公民館と梓川公民館が協力して活動を長年に渡り実施しており、各町内、更に梓川地区住民の絆を作ってきました。この様な伝統の中で会長を務める重圧はありますが、少しでも皆様のお役に立てるように努力したいと存じます。

私は、信州の山に憧れて大学時代に四国から松本に参りましたが、それ以来約40年が経ちました。最近も信州の山々を登る度にその美しさに感動して、この地に住んでいる喜びをいつも感じています。

公民館は地域住民にとつて最も身近な学習拠点であり、更に交流の場として重要な役割を果たしています。そのため、今年度も梓川公民館と各町内公民館が連携して、梓川住民の皆様の一歩に出来るべく楽しい行事を企画していきますので、積極的にご参加いただくことをお願いして、就任のご挨拶に替えさせていただきます。

公民館職員あいわつ

梓川地区町会連合会のご推薦により梓川公民館長に任命されました川村吉郎(横沢)と、人事異動で着任した黒田晋公民館主事です。4月に運営委員会のほか町内公民館長会、体育・文化・広報の各委員会も発足し、図書委員を含めると約100人の頼もしい町会代表の皆様とともに、「令和」の時代の梓川公民館活動を頑張りたいと思っております。どうかよろしくお申し込み申し上げます。

私たちは、梓川公民館の事業が住民主体で互いに楽しむことのできる交流や活動の場となるように推進したいと考えています。また、公民館が子どもから高齢者まで様々な人が集い、共に学び、互い

につながっていくものとなるように、微力ですが努めて参りますので、運動会などの行事や各種講座へお気軽にご参加くださるなど、温かいご支援をお願いします。

令和元年度 梓川公民館役員紹介

本年度公民館事業を担う梓川公民館委員・町内公民館役員の皆さんです。

Table with columns: 町内公民館, 館長, 副館長, 体育委員, 文化委員, 広報委員. Lists names and roles for various wards.

Table with columns: 運営委員. Lists names and roles for various committees like 梓川地区町内公民館長会長, etc.

Table with columns: 図書委員. Lists names and roles for library committees like 小口 里香, etc.

(◎会長又は委員長 ○副会長又は副委員長 ㊟理事 敬称略)

春祭り

各地で春祭りが開催され、その中でも大宮熱田神社の祭典が4月28日から29日にかけて行われました。これは丸田、大久保、上立田、下立田、北々条、南北条が合同で行う梓川地区最大級の祭典で、その宵祭りが好天に恵まれ今年も賑やかに執り行われました。

宵祭りは神社に向かうところから始まります。まず各地区が宮前三つ辻で落ち合い、そして皆で提灯陣を組み挨拶を交わす大日前での仕来りは、引き締まる雰囲気の中にも、提灯祭りとも言われるこの祭典のほのぼのとした風情を感じますし、各地区の山車にも多数の提灯が灯り、山車5台並んだ様子は壮観です。

この祭典のメインイベントは獅子舞奉納ではありますが、提灯の振る舞いにもぜひ注目したいところです。

この他に杏・日枝神社では浦安の舞が受け継がれていて、上角・八王子社では、昨年紹介された手作りの子ども神輿が町内から八王子社まで元気を掛け声で練り歩きました。



大日前での仕来り(大宮熱田神社)



山車が並ぶ(大宮熱田神社)



浦安の舞(杏・日枝神社)



子ども神輿(上角・八王子社)

農作物を守る

八景山町会には県道北側の上の平らに畑があります。ここでは20件程の人達が農作物を作っていますが、猿や猪などの被害を受け大切に育てた農作物が荒らされていきました。以前は、畑の山側だけに電気柵があり、被害が減らないため、畑をぐるっと囲むように増設しました。そのお陰で今では荒らされる事なく、安心して農作物を作ることが出来ています。

輪湖孝三さん(71)は14年ほど前から農家組合長と共にボランティアで全長約2300mの電気柵を1か月に20日程電圧の確認や倒木の片付け、猪が掘った穴を埋めたり、網の修復をしてくださいました。

「今ではみなさんに手伝ってもらってとても助かっています。体が動く限り続けていきたい。」と話していました。



雑記帳

テレビでよく俳優が一人であらりと旅に出て、農作業をしている方に声をかける番組がある。信州に来た俳優は、果樹園で作業中のおばあさんに「何かお手伝いさせてください」とリンゴを手に取ったところ、そのおばあさんに「いいで、おきましょ」と言われ俳優は一瞬キョトンとして慌ててリンゴを下に置いた。方言が通じなかったと気づいたおばあさんは「手が汚れるからやらない方がいいよって意味だわ」と笑っていたが、観ている方もおかしいやら気の毒やら・・・。

「おきましょ」は、置いて・やめた方がいい・起きて・などの意味として普段あたりまえの様に使っているが、言い方も、強い・弱い、でニュアンスも微妙に変わってくる。おいとくれや、なんて言う時もある、改めて方言の難しさについて考えさせられた。あの意味こんな難しい方言を使いこなしている事がすごい事だとさえ思えてくる。

今後、ぶらり旅、には方言の通訳の同行が必要かいね(笑)

